

経済レポート

令和3年11月30日 2859号
(昭和39年4月22日第三種郵便物認可)

2021年
〈火曜日発行〉

11/30

ひろしま管財・川妻社長
修道大で事業承継の講義

総合ビル管理を手掛けるひろしま管財(株)(中区大手町5-7-17)の川妻利絵社長が18日、広島修道大学(安佐南区大塚東)の授業「広島の実業承継を学ぶ」で講義を行った。

同大学では、事業承継の現状を考察するとともに、地元の経営者から実学を学び、自己のキャリア(人生)を考察することを目的に同授業を実施。実際に承継や創業した経営者から直接話を聞くことで卒業直後のキャリアだけでなく10〜20年先の人生を考え、その選択肢を拡げてもらう。全15回で経営者12人のほか金融

機関担当者が講義する。

川妻社長は「社長になるということ」の演題で、会社の沿革や特徴、自身の経歴、目指している会社や業界のビジョンなどを話した。

専業主婦から突然社長



に指名され、悩みに悩んで決断した。これは、子供の頃に片足一本で経営していた創業社長である祖父の姿を見ていたから。「石にかじりついても守り抜いてみせる」と0からのスタートを切った。業績が悪く賞与を出せなかった時は、一人の社員に包丁を突き

付けられて「本心」を痛感。正面から向き合ったことでその社員から改革案などの意見をもらった話ほか、数々のエピソードを披露。様々な経験から学んで実践していることとして「涙を流すことは大事」「悩んだときは主人公にならず客観的に自身を見ること」「大変な時こそ自分にご褒美を」「ありがとう(有難い)の意味を理解し、自分から発信すること」などを学生たちに授けた。

また、経営のポイントとして「乗り越えられない壁はない」「社員の数の4倍の人が社長の双肩に乗っている」「信頼できる相談者を作ること」を挙げ、事業承継については「覚悟を持つこと」と伝えた。